

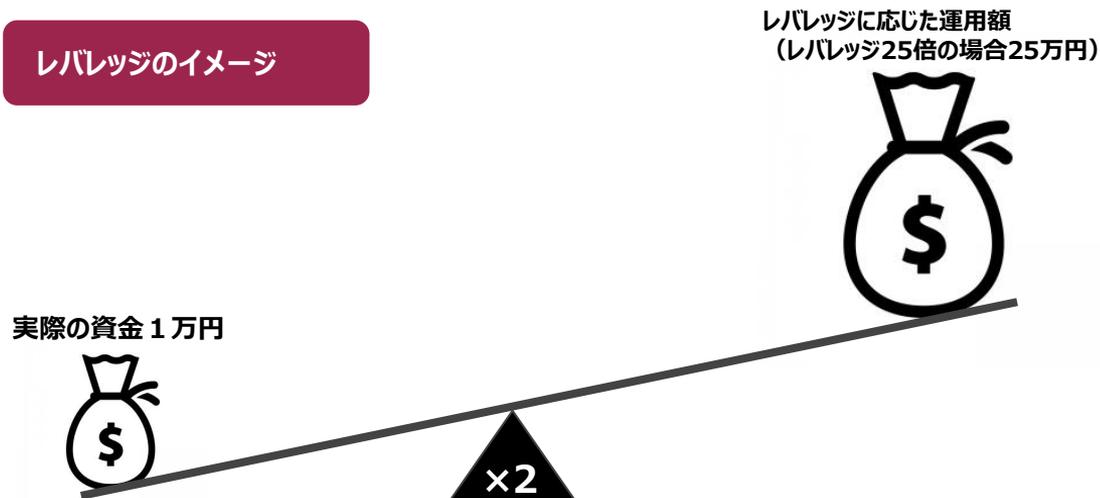
# FXの基礎知識

FXって、よく聞くけどなんだろう？

## ・FX（外国為替証拠金取引）の特徴

外貨預金は、持っている資金の範囲内でしか外貨と交換する事はできませんが、FXは、その何倍もの取引ができます。これをレバレッジ（テコの原理）と呼びます。この倍率によって、動かせる金額は変わってきます。レバレッジの倍率は、証券会社により異なり、日本国内では25倍が最高倍率となっており、海外の証券会社では500倍や1000倍といった倍率も存在します。ご自身の運用計画に合わせて、証券会社を選択してください。

### レバレッジのイメージ



## ・FXと外貨預金の違い

FXと外貨預金の大きな違いは、先程説明したレバレッジの差です。では具体的に、FXと外貨預金では、結果にどのような違いが生まれるのか説明いたします。ここではわかりやすいように、為替レートは1 \$ = 100円で計算いたします。また、投資金額は1万円と仮定いたします。

相場の動き	外貨預金	FX
1 \$ = 101円に上がった場合	100 \$ 保有 10,000円→10,100円 100円の利益	2,500 \$ 保有 250,000円→252,500円 2,500円の利益
1 \$ = 99円に下がった場合	100 \$ 保有 10,000円→9,900円 100円の損失	2,500 \$ 保有 250,000円→247,500円 2,500円の損失

FXも外貨預金も同じ元手（1万円）で取引を開始しましたが、表を見てもわかる通り、FXは利益が25倍ですが、損失が出た場合は、損失額も25倍になります。

## ・FXの特徴まとめ

レバレッジ	前述の通り、レバレッジをかけることで、少ない資金で多くの取引を行うことができます。
市場が大きい	日本国内だけでも約40兆円の規模があります。株式と違い、世界規模で、動く金額も大きいので、相場操縦が難しく、不可解な動きが起こりづらい傾向にあります。
24時間取引	株式市場は決められた時間限定での取引となりますが、FX市場は世界を対象としているため、24時間市場が開いています。
流動性が高い	株式の場合は注文した金額で約定するまでに時間がかかったりしますが、前述の通り、FXは市場規模が大きいため、注文が約定するまで時間がかからず、また注文通りの価格で約定しやすい特徴があります。

# ・スプレッドの存在

FXでは買値と売値に差があります。例えば1 \$ の市場価格が100円でも、買値と売値が異なります。その買値と売値の差の事をスプレッドと呼び、これが証券会社の手数料となります。ですので、別途手数料がかかる事はありません。ただし、証券会社によって特殊な条件を付与した口座などが用意されており、スプレッドが少ない（もしくは無い）代わりに、手数料を取る証券会社も存在します。

これも、ご自身の運用計画や、トレードスタイルに合った証券口座を選択するようにしましょう。

買値	売値
100.41 円	100.43 円
←2銭の差→	

左図の場合、価格差（スプレッド）は2銭となります。

つまり、相場が全く動かないという前提の下、買ってすぐに売ると、1 \$ につき2銭を損してしまう計算になります。

## ・pips (ピプス) について

pipsとは、為替レートの動く時の最小単位の事を指します。

買値	売値
100.41 円	100.43 円

左図の場合、小数点第二位がpipsの一桁目にあたります。つまり100円からスタートして、100.43円まで上がった場合43pips上がったという事になります。

また、円の表記は多くの証券会社で100.434のように、小数点第三位まで表示されます。この場合、小数点第三位の数字は0.〇pipsと扱われます。例えば100.434から100.438まで上がった場合、0.4pips上がったという事になります。

同様に、ユーロやポンドなどの通貨の場合でも、下から二番目の桁が、pipsの一桁目としてカウントされます。